

令和8年度

運営に関する計画

【立案】

大阪市立北中道小学校

大阪市立北中道小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は「明るく仲よく正しく生きる子、心身ともに健康でねばり強くがんばる子、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を持ち、個性と創造力豊かな子」という教育目標のもとに、めざす子ども像を「仲間と認め合い自らよりよく学ぶ子ども」とし、安全・安心な教育の推進と未来を切り拓く学力・体力の向上、学びを支える教育環境の充実をめざし、多様な教育活動を推進している。

安心・安全な教育の推進については、毎日、子どもたちが、学校に行くことが楽しいと感じ登校できるように、いじめの早期発見・対応に努め、不登校児童への対策やアプローチを工夫し、学校のきまり等も配慮し、道徳性・社会性の育成に努めてきた。そこでは、多文化共生教育や特別活動に重点を置き人権を尊重する教育に取り組んだ。民族学級や国際理解教育の推進、異学年交流の推進、防災訓練など地域と連携した教育活動の工夫など進めて、互いのよさと違いを認め尊重し合う態度の育成を図り、児童の育成に努めてきた。その結果、令和7年度学校アンケート「自分にはよいところがある」では、は87%の児童が肯定的な回答をしている。今後も継続して自己肯定感の向上を図ることが課題である。令和7年度学校アンケート「学校に行くことが楽しい」では、83%の児童が肯定的回答をした。今後も、子どもたちが楽しく学校に通えるように、安心・安全な学校の教育の推進に重点を置きたい。

また、学力・体力の向上については、学習指導の充実と健康・体力の保持増進についての指導に努めてきた。そこでは、子どもの主体性を重視した学習指導と保健指導に取り組んだ。体育を中心とした教科指導の実践的な研究、自学自習できる環境整備、手洗い・うがいなど健康的な生活習慣の確立などを進めて、自ら学ぶ力と健康な心身の育成を図った。その結果、令和7年度学校アンケート「授業はしっかり学習し、分からないところは先生に質問する」では、80%の児童が肯定的な回答をしている。今後も、自ら学ぶ力を育成していく必要がある。また、令和7年度学校アンケート「運動やスポーツをすることが好きですか」では、91%の児童が肯定的な回答をしている。今後も運動への関心を高める続けていく必要がある。

そして、学びを支える教育環境の充実については、ICT機器活用の推進に努めるとともに、会議や学校行事の精選を進めてきた。そこでは、児童が主体的にタブレット端末を活用できるよう取り組むとともに、教職員の負担軽減を図った。その結果、授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日数は、80%をこえている。今後も、主体的にタブレット端末を活用する環境づくりを進める必要がある。そして、教職員の時間外勤務時間は、会議や行事の精選は推進しているが、縮減に課題を残している。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和11年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7:83.6)

○令和11年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、83%以上にする。(R7:81.6)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11年度の全国学力・学習調査における平均正答率（国語、算数）の対全国比を0.08ポイント以上にする。※全国平均を1とした時の割合（R7（国語0.078算数0.069））

○令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点（男子、女子）の対全国比を0.05ポイント以上にする。 ※全国平均を1とした時の割合（R7（男子-0.046女子+0.026））

【学びを支える教育環境の充実】

○令和11年度小学校学力経年調査アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集、整理し、まとめ、表現する取組をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R769%（3年67.7、4年66.7、5年72.9、6年70%））

○令和11年度本市調査（システムによる自動集計）における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を20時間以下にする。(R7 2月末現在:27時間39分)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7:84.7%) (R7:3年85.3、4年91.7、5年75.6、6年86.0)
- ② いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。
- ③ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R7:0%)
- ④ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(R7:100%)
- ⑤ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7:87.6%)
- ⑥ 小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7:83.2% (R7:3年76.5、4年87.6、5年86.5、6年82.0))

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。(R7:-0.03(4年-0.05 5年-0.01 6年-0.04))
- ② 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。(R7:-0.04(4年+0.06 5年-0.07 6年-0.10))
- ③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。(R7:71.3%)
- ④ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合81%以上にする。(R7 類似質問 80.4% (R7:3年82.4、4年83.4、5年83.7、6年72.0))
- ⑤ 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R7:74.2%)
- ⑥ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7:85.6%(R7:3年82.3、4年89.6、5年86.5、6年84.0))

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集、整理し、まとめ、表現する取組をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 69% (3年67.7、4年66.7、5年72.9、6年70%))
- ② 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ③ 本市調査(システムによる自動集計)における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を25時間以下にする。(R7 2月末現在:27時間39分)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立北中道小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(R7：84.7%) (R7：3 年 85.3、4 年 91.7、5 年 75.6、6 年 86.0) ② いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている』と回答する教員の割合を 100%にする。 ③ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R7：0%) ④ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(R7：100%) ⑤ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。(R7：87.6%) ⑥ 小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7:83.2% (R7：3年76.5、4年87.6、5年86.5、6年82.0)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向番号 1、安全・安心な教育環境の実現】 不登校、いじめの対応を組織的に行うようにする。 指標 ・学期ごとのいじめアンケートについて「今のクラスになっていじめられている。」に「はい」と答えた児童への聞き取りを行い 100%対応する。(R6：100%) → (R7：100%) ・1 日 1 回以上、「心の天気」を入力させ、児童の心の変化に気づき、対応するようにする。 ・不登校とみられる児童への対応について学校全体だけでなく、関係諸機関と連携を取りつつ対応した割合を 100%にする。	
取組内容②【基本的な方向番号 2、豊かな心の育成】 学校・保護者・地域が連携して「仲間づくり」を中心にした国際理解教育や人権教育を推進する。 指標 ・国際理解教育、人権教育の年間指導計画を見直し、保護者・地域と連携した教育活動を実践する。本校の外国人教育について、教職員に対し年 3 回以上研修または共通理解の場を設け、児童に対し各学年 1 回以上民族講師との課内活動に取り組んだり交流給食を行ったりする。 ・学校アンケート(児童対象)における「自分がされていやなことは人にしないようにしている。」の項目について肯定的な回答をした児童の割合を 90%以上にする。(R6 前期 90.1% 後期 85%)→ R7 後期 92% ・「いろいろな国の生活や文化を知ることが楽しい。」の項目について肯定的な回答をした児童の割合を 80%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向番号 2、豊かな心の育成】 にじいろ班活動やにじいろ行事を通して異学年交流を深め、子どもの心を豊かにする。 指標 ・児童が、各々の学年に応じた役割を意識して、児童集会やにじいろ清掃、にじいろ班活動等の異学年交流に取り組めるように実施し、学校アンケート(児童対象)における「ちがう学年（にじいろ班など）の人たちと活動することが楽しい。」の項目について肯定的な回答した児童の割合を 85%以上にする。(R6：85%)→R7 後期 87%	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① 取組内容② 取組内容③
次年度への改善点
取組内容① 取組内容② 取組内容③

大阪市立北中道小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ① 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。(R7: -0.03(4年-0.05 5年-0.01 6年-0.04) ② 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。(R7: -0.04(4年+0.06 5年-0.07 6年-0.10)) ③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。(R7: 71.3%) ④ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 81%以上にする。(R7 類似質問 80.4% (R7: 3年 82.4、4年 83.4、5年 83.7、6年 72.0)) ⑤ 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。(R7: 74.2%) ⑥ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(R7: 85.6%(R7: 3年 82.3、4年 89.6、5年 86.5、6年 84.0))	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】 指導方法を工夫して、学習内容の定着を目指し、また、自宅学習の習慣を確立できるような支援に取り組む。 指標 ・学校アンケート(児童対象)の「きちんと宿題に取り組んでいる。」の項目について、肯定的な回答を 95%以上にする。(R7: 94%) ・学校アンケート(児童対象)で「話し合う活動では、自分の考えを友だちに伝えることができる。」の項目について、肯定的な回答を 75%以上にする。(R7: 74%) ・学校アンケート(児童対象)の「生活・理科の学習は好きだ」の項目について肯定的な回答を 80%以上にする。(R7: 78%) ・学校アンケート(児童対象)で「外国語(英語)やモジュールの学習は好きだ」の項目について、肯定的な回答を 85%以上にする。(R7: 84%)	
取組内容②【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】 げんきアップ週間の取り組みや外遊びの啓発、体育科学学習の指導方法の工夫により、健康や運動への関心を高める。 指標 ・げんきアップ週間の振り返りで「昨日、おうちの人ときめた時間に布団に入った」(R7年度より)の項目について達成率を 77%以上にする。(R7: 76%) ・げんきアップ週間の振り返りで「寝る前はゲーム・スマホ・タブレットなどの画面を見なかった」の項目について達成率を 75%以上にする (R7: 74%) ・学校アンケート(児童対象)で「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは楽しい」の項目に	

について、肯定的な回答を 91%以上にする。(R7 : 91%) ・年間で 2 回以上にじいろ班活動で体力向上の活動に取り組む。(R6 年度より) (R7 年度 1 学期なし 2 学期全校オリエンテーリング、3 学期大縄大会)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① 取組内容②	
次年度への改善点	
取組内容① 取組内容②	

大阪市立北中道小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ① 小学校学力経年調査アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集、整理し、まとめ、表現する取組をしていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R7 69% (3年 67.7、4年 66.7、5年 72.9、6年 70%)) ② 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ③ 本市調査（システムによる自動集計）における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を25時間以下にする。(R7 2月末現在：27時間39分)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向番号6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 学習者用端末を活用し、決まりを守って、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組を推進する。 指標 ・学校アンケート（児童対象）の「使い方のきまりを守って、毎日タブレットを使っている」の項目について、肯定的な回答の割合を92%以上にする。(R7:91%)	
取組内容②【基本的な方向番号7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員間の情報交換・コミュニケーションの充実を図り、協働的に業務に取り組み、教員一人一人の働きやすさ、働きがいを実感しながら自己実現をできる環境づくりを推進する。 指標 ・ゆとりの日を週に1回設定し、18時までに退勤する教職員を90%以上にする。 ・基本的に19時には退勤をする。 ・教員の時間外勤務時間の1か月平均を25時間以下にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① 取組内容②	
次年度への改善点	
取組内容① 取組内容②	